

室根の環境について考えよう

【実践者】

氏名	渡邊 彩香	学校名	岩手県 一関市立室根小学校
担当教科等	5 年担任	対象学年（人数）	5 年 1 組（29 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	R5 年 10 月 2 日（月）		

【実践概要】

1. 単元（活動）名 室根の環境について考えよう		
2. 単元目標 単元目標： 【知識及び技能】 ・体験活動や教師の提示する資料などをもとに、環境問題について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・SDGs の環境に関する目標 4 つから一つを自分で選び、その問題や対策などの、情報を集めて、整理分析し、まとめること。 【学びに向かう力・人間性等】 ・調べたことから、自分には何ができるかを考え、積極的に行動しようとする事。		
関連する学習指導要領上の目標：（小学校 総合的な学習の時間 1 目標） 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。		
3. 単元の評価規準	①知識及び技能	体験活動や教師の提示する資料などを基に、環境問題について理解している。
	②思考力、判断力、表現力等	SDGs の環境に関する目標 4 つから一つを自分で選び、その問題や対策などの、情報を集めて、整理分析し、まとめている。
	③主体的に学習に取り組む態度	調べたことから、自分には何ができるかを考え、積極的に行動しようとしている。

4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 5学年は、総合的な学習の時間で地域の環境をテーマに学習をしている。森は海の恋人植樹祭に参加するなど、地域の環境を守る活動について学習してきた。室根の環境と世界の環境を比べることで、地域のよさや課題に気づき、自分事として環境について考えることができると考え、本単元を設定した。 【単元の意義】 地域での学習で、地域のよさを知ることができる。しかし、世界に目をむけることで、改めて地域のよさを実感し、見えなかった課題が見えてくる。世界で起きている環境問題は、児童の課題意識が高まるものになると考えられる。 【児童／生徒観】 活発で元気のよい子ども達である。地元のことを愛し、自然愛護少年団の活動にも意欲的に取り組んでいる。外国の文化に関心があり、モザンビークの話をした際には、大変興味をもって話を聞いていた。環境問題については、森は海の恋人の活動を通して、森と海の関係について理解を深めてきた。 【指導観】 本単元の指導に当たって、SDGs 目標と関連付けながら学習を進めていきたい。最近様々なメディアに取り上げられているため、SDGs は子ども達にとって身近なものになっている。SDGs 目標の中で、環境にかかわる目標は、6、12、13、14とされている。13、14は第1次での学習と関連があるため、6、12の目標を第3次での学習で関連づける。 第3次では、モザンビークの写真から、世界につながる資料を提示し、モザンビークだけでなく、世界で起きている環境問題について考えたい。
--------------------------------------	--

5. 単元計画（全30時間）			
次	『小単元名』・学習のねらい	学習活動	資料など
1	『川・森・海のつながりを考えよう』 川・森・海のつながりを考え、室根山の環境整備が海の豊かさにつながることを知る。	・ 森は海の恋人植樹祭に参加する。 ・ 森は海の恋人研究所で、牡蠣の養殖体験をする。 ・ 森は海の恋人について課題をもち、調べる。 ・ 室根山の環境整備に参加する。 ・ 畠山信さんからフィリピンでも森は海の恋人植樹祭をしていたことについて、お話をしていただく。	
2	『育てて食べようおいしいお米～バケツ稲～』 バケツ稲で米を育て、米を育ち方や大変さを知る。	・ バケツ稲で米を育て、育ち方をまとめる。	
3 本時	『世界の環境問題を知ろう』 世界の環境問題を知り、現状や課題を捉え、地域と関係があるかを考える。	世界の環境問題を知り、現状や課題を捉え、地域と関係があるかを考える。	JICAパンフレット 東北からSDGs など

4	『SDGsを通して室根を考えよう』	・SDGsの環境に関する目標4つから自分のテーマを1つ設定し、調べ、意見書にまとめる。 ・学んだことを学習発表会で、劇にして全校、保護者、地域の方々に発表する。 ・学習を振り返る。	JICAパンフレット 東北からSDGsなど
---	-------------------	--	--------------------------

6. 本時の展開（16 時間目）

本時のねらい：世界の環境問題を知り、現状や課題を捉える。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入	・モザンビークで子どもたちが水をくみに行く写真をみせて、何をしている写真なのかを話し合い、水をくんでいる写真だということを知る。 ・なぜ水をくみに行くのかを考えさせ、家に水道がない、井戸がない、きれいな水がないなど環境の問題があることに気づかせる。	初めに「何が見えますか」と問い、全員が話せる環境を作る。	【資料1】
(3分)	世界の環境問題について知ろう。		
展開	○水がないとどんなことに困るでしょうか。 ・ペアで話し合わせる。 ・エチオピアの13歳の女の子が水をくみに行く動画をみる。(4分) ○安全な水がすぐに手に入らないとどうなってしまうでしょうか。 ・グループで話し合わせて発表する。 ○この問題はSDGsのどの目標にあてはまりますか。 ・JICA 東北のパンフレットの該当ページを読み、世界では、4人に1人が、汚染された水を飲料水としてつかっていることや毎年200万人以上が、	動画によって、水をくみに行き帰ってくるだけで一日が終わることに気づかせる。	SDGs17の目標 SDGs クラブ 日本ユニセフ協会 (ユニセフ日本委員会) (unicef.or.jp) 東北からSDGs

(32 分) まとめ	汚染された水を飲むことで命を失っていることを知る。 ・以前話したモザンビークの小学校がサイクロンによって被災し JICA が学校を立てる支援をしたことを紹介する。 ・日本でも最近とても暑いことや大雨、洪水などが頻繁に起きていることを思い出す。 ○未来の気候はどうなるのでしょうか。 ・2050 年を予想した WMO 気象情報のニュースをみる。(6 分) ○どんなひとが一番、この影響を受けるでしょうか。 ○この問題は SDG s のどの目標にあてはまりますか。 ・JICA 東北のパンフレットの該当ページを読み、気候変動の状況や、災害が引き起こす影響を知る。	写真を見せて具体的なイメージをもたせる。 自分の興味と室根に関係あるかという観点で並べ、テーマを設定するうえで活用したい。	【資料 2】 世界気象機関 (WMO) : 2050 年の天気予報 (NHK) 【資料 3】
(10 分)	今日の振り返りをかく。 SDG s の環境に関する目標 4 つをゴールマッピングで並べてみる。 次回は自分が気になる目標を 1 つ選び、それについて調べていくことを伝える。		

7. 本時の振り返り

子ども達と一緒に、世界で起きている環境問題は、どの SDG s 目標につながっているかを考えることができた。日本では困らないような問題が世界で起きていることを理解していたと思う。サイクロンの問題と SDG s のつながりをみんなで考えたときに、水をくみに行けなくなる、健康にかかわる、食べ物が育たない、学校に行かないと災害時の避難の仕方がわからないなど、SDG s 目標はつながっているということに子ども達が気付いたことが、とてもよかった。

8. 学習方法及び外部との連携

森は海の恋人研究所副理事長畠山信さんをお招きし、フィリピンでの森は海の恋人の活動についてお話をいただいた。室根でしている活動が、世界でも取り組まれていることを知るとてもよい機会となった。

9. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

○学習発表会【資料4】

学んだことを劇にして発表した。

○学校内の掲示【資料5】

子ども達がモザンビークを身近に感じられるように、ココナッツオイルやかごのバッグなど、触ることができるものも展示した。行事の時にも展示し、保護者の方にも見ていただいた。

○図書室

アフリカの本コーナーを設けた。

○全校朝会(リモート)でのお話【資料6】

JICA の実践集の資料を用いて、モザンビークのことや、学校にいけない子ども達の理由と困ること、教育の大切さを全校児童に話した。

○一関地区社会科研修会で発表

教師海外研修で学んだことを先生方に発表した。

【自己評価】

10. 成果	学級の子ども達だけでなく、全校の子ども達にも発信することができた。モザンビークに興味関心をもった児童が多く、図書で調べたり、テレビ番組やニュースでアフリカのことをよく見たりしていた。アフリカの歌のことや給食の中のアフリカ産のものなどを子どもたちに紹介してくれる先生がいらっしゃった。学校全体でアフリカを身近に感じることもできた。
11. 課題	このような授業をしたことがなかったので、授業構成が難しかった。どの動画資料が有効なのか、資料の選択が難しかった。一度やって終わりになってしまっているので、継続的に何かに取り組むことができたらいと思った。掲示等は更新が必要だと感じた。
12. 改善点	授業で使う資料は、様々な資料があると聞いたので、調べて使いたい。森は海の恋人をキーワードに、「○は□の恋人」というまとめをつくるとさらに子ども達の考えを深めることができたと思う。
13. 学びの軌跡 (児童生徒の反応・変化、感想文、作文、ノートなど)	授業後の振り返り

14. 授業者による 自由記述	研修を通し、モザンビークのことを様々な面から見る事ができた。見たものが全てではないことから、子ども達にどのように伝えるべきか迷いもあった。しかし、見たものは事実であり、伝えるべきだと思ったことは伝えたいと思い、様々な発信の場を設け、見たもの、考えたこと、一緒に考えたいことを伝えることができた。これからも、子ども達と一緒に、日本や世界での出来事に目を向けて、知ること、考えることを続けたいと感じた。 貴重な経験をさせていただいた JICA の方々、共に過ごした素晴らしい先生方に感謝の気持ちでいっぱいである。
--------------------	--

参考資料：

東北から SDGs（JICA）

共につくる私たちの未来（JICA）

つながる世界と日本（JICA）

[SDGs17の目標](#) | [SDGs クラブ](#) | [日本ユニセフ協会（ユニセフ日本委員会）](#) (unicef.or.jp)

世界気象機関(WMO)：2050年の天気予報(NHK)

添付資料

【資料1】



【資料2】



【資料3】



【資料4】

SDGｓで環境を守れ！室根探検隊！ 令和5年 第5学年学習発表会 台本

プロローグ

ろい1 やあやあ、モモちゃん、ちょんまげ小僧くん、かずとくん、しょうへいくん、おそろいで。

ちょんまげ小僧1 あ、ろいくん！

モモ1 みんなまっていたのよ！

しょうへい1 そうそう！

かずと1 おそいぞ、ろい、謝れよ！

ろい1 なんて？

かずと1 ごめんなさい・・・

ろい1 もうするなよ。（肩をたたく）

かずま1 はい・・・ってなんで僕があやまってるんだよ！

モモ1 もういいでしょ。今日はしょうへいくんがみんなを集合させたのよね。なにかあったの？

しょうへい1 室根小学校近くの川で、こんなものをみつけたんだ。（地図出す）

ちょんまげ小僧1 （地図をみて）わー！宝の地図だ！

かずと1 どれどれ、（地図を見て）宝の地図…SDGｓ目標を集めていくと、龍が現れて、願いを叶えてくれるだろう

ちょんまげ小僧1 SDGｓって、去年学校にぺっぱーくんがきて、おしえてくれたよね！

ろい1 今日も教えてもらおう！みんなでペッパー君をよぼう！せーの！

みんな1 ペっぱーくん！

ぺっぱー1 こんにちは。SDGｓについて説明するね。

SDGｓとは、みんながずっと地球に住み続けられるように、

ぺっぱー2 幸せな未来にするように、世界の国々がみんなで考えた17の目標だよ！

SDGｓについてまた説明にくるねー！

（音とともに退場）

しょうへい1 ペっぱーくんありがとう。そのSDGを探せば、願いが叶うってわけか！

モモ1 そうとなれば、わたしたち、むろねたんけんたいの出番ね！

かずと1 みんなで探しに行こう！

ちょんまげ小僧1 僕ちょっと怖いなあ・・・

モモ1 いくだろ？（怖く）

ちょんまげ小僧1 はいい・・・

しょうへい1 （地図を見ながら）室根山にあるみたいだぞ

ろい1 ちかーい！すぐいけるぞ！むろねたんけんたい！ファイヤー！

みんな ファイヤー！

ろい1 ぼくは猫を100匹飼いたいっておねがいしょーっと・・・！

第1幕

（小学生はステージ上にスタンバイ）

しょうへい うわー、室根山からみる景色はいつみてもきれいだなあ

モモ1 あれ、小学生や大人のひとたちがたくさんいるよ、何をしているんだろう？

ちょんまげ小僧1 こんにちは

小学生全 こんにちは

小学生 1 わたしたちは室根小学校の 5 年生だよ

小学生 2 今日は、室根山クリーン作戦で、室根山のごみ拾いをしているんだ

小学生 3 暑いなあ… 室根山はきれいで、ぜんぜんごみがないよ・・・

小学生 4 お！プラスチックの袋のごみがあった！

小学生 5 こっちはペットボトルがあったよ！

かずと 1 どうして山のごみをひろっているの？

小学生 1 山に捨てられたプラスチックごみをいきものがたべてしまうんだ。

小学生 2 ごみをたべてしまった生き物たちは、死んでしまうんだよ。

小学生 3 ごみのせいで、山の土が悪くなると、木が育たなくなっちゃう！

小学生 4 山は生き物たちのすみかにもなっているよね！

小学生 5 生き物には室根山のようなきれいな森林が必要なんだよ。

ろい 1 よし、僕たちも一緒にごみを拾おう

みんな おー！

小学生 わあ、なんだこれ！

みんな （音が鳴る） こ、これは！

ペッパー 1 SDGS 目標 15 陸の豊かさを守ろう だよ。

森林破壊を減らし、森林を再生して、陸の生き物たちを守るための取り組みだよ！

ろい 1 やったあ！1 つめゲットだぜ！

モモ （地図見ながら） 次の目的地は…気仙沼よ！

第 2 幕

ちょんまげ小僧 1 気仙沼の海ってきれいだね～！うみはひろいなおおきいな～♪

かずと 1 あ、また室根小学校の 5 年生たちだ！こんにちは！

小学生全 こんにちは！

小学生 6 また会ったね。ここは、森は海の恋人研究所だよ。

ろい ええ…森は海の恋人…？ （森と海がラブラブなイメージをする）

小学生 7 ぼくたち、海的环境について学習するために来たんだ。

小学生 8 こちらは、NPO 法人森は海の恋人の副理事長をされている、畠山信さんだよ。

畠山さん こんにちは。よかったら君たちも一緒にどうかな？

モモ 1 やったー！なんだか楽しそう！

しょうへい 1 森は海の恋人研究所ってどんなことをされているんですか？

畠山さん 私たちは、木を植える活動で森づくりするなどの自然環境を守るための活動をしているんだよ。

小学生 6 ぼくたちも、その木を植える活動、森は海の恋人植樹祭に参加したんだよ！

ちょんまげ小僧 1 なぜ木を植える必要があるんですか？

畠山さん 実は、魚や牡蠣のえさは、森から川を流れて海にやってくる植物プランクトンなんだ。

かずと 1 森が荒れてしまうと、魚や牡蠣たちのエサがなくなってしまうってわけか！

しょうへい 1 森と海はつながっているんだね。

ろい 1 だから森は海の恋人なのか！納得したよ！（ラブラブなわけではないんだ・・・）

畠山さん こうやって環境問題について、教えることも森は海の恋人の活動なんだよ。

小学生 7 畠山さんはフィリピンでも、環境の調査や環境についてみんなに教える活動もしたんだって！

小学生 8 この前、室根小学校に教えに来てくださったんだよ！

モモ 1 畠山さんすごい！！

しょうへい 1 他の国も、室根のように海の環境問題に取り組んでいるんだね。

小学生 6 他にも、海に捨てられるプラスチックごみを魚やウミガメが食べてしまうなんていう問題もあるんだって。

かずと 1 海をきれいにすることって大切なんだなあ。

畠山さん 海の環境の大切さを分かってくれた君たちに渡したいものがあるんだ。

みんな (音が鳴る) こ、これは！！

ペッパー 2 SDGs 目標 14 海の豊かさを守ろうだよ。人間の活動による海の汚染を減らして、海の生き物を守る取り組みだよ！

ろい 1 やったあ！2 つめゲットだぜ！

しょうへい 1 次の目的地は、アフリカのモザンビーク！？

かずと 1 僕のお父さん、アフリカで働いているからみんな連れてってもらおう！

みんな やったー！

第 3 幕

かずと父 ここがモザンビークのベイラという町だよ。

かずと 2 お父さん、連れてきてくれてありがとう。

子ども 1 ふう、つかれたなあ

子ども 2 もうすこし、がんばろう

ちょんまげ小僧 2 あの子たち、なにしているんだらう。

しょうへい 2 ボンディーア！きみたちなにしているの？

子ども 1 ボンディーア！これから水をくみに行くんだよ。

モモ 2 水をくみに？家に水道はないの？

子ども 2 水道？ないよ？近くに井戸もないんだ

子ども 1 だから毎日川まで水をくみに行くんだ。

ろい 2 川の水を？！川の水って飲めるの？

子ども 2 うん、毎日のんでるよ。たまにおなかを壊すこともあるけどね。

かずと 2 あれ、今って学校の時間じゃないの？

子ども 1 わたしのお父さんは病気で、お母さんは小さい妹の面倒をみているから、水をくみに行けるひとがいないの。

子ども 2 だから学校に行かないで、毎日水をくみに行って、家の手伝いをしているんだよ。

子ども 1 家族が待ってるから、早くいかないと、チャウチャウ（バイバイ）

しょうへい 2 う、うん。気を付けてね。チャウチャウ（バイバイ）

かずと父 モザンビークだけでなく、世界中には、日本のように安全な水がすぐ手に入らない人たちが 20 億人もいるといわれているんだ。なかには、8 時間かけて水をくみに行く子もいるんだよ。

みんな ええ！そんなに！

ろい 2 汚れた水を飲んだら病気になってしまいそうだよ。

かずと父 そのとおり。汚れた水を飲んで毎年 200 万人以上が命を失っているんだよ。

かずと 2 知らなかった、室根ではきれいな水を当たり前のように使っていたけど、当たり前じゃない人もいるんだね。

ろい 2 ぼく、水道の水、よく出しっぱなしにしちゃうんだよなあ

ちょんまげ小僧 2 室根の水も大切にしないとね。

子ども 2 おーい！もしかしてこれきみたちがさがしてたもの？

みんな (音が鳴る) こ、これは！

ペッパー 1 SDG s 目標 6 安全な水とトイレを世界中に だよ。

すべての人が、水道や井戸などで安全な水を使えるように、
清潔な環境で過ごせるようにする取り組みだよ！

ちょんまげ小僧 2 やったあ！ 3 つめゲットだぜ！

ろい 2 あ、僕のセリフとるなよ！

しょうへい 2 まあまあ。

かずと 2 ふたりともありがとう！ カニマンボ！

子ども 2 人 カニマンボ！ チャウチャウ！

しょうへい 2 次の目的地は…2050 年の日本？

みんな (ぴかっと光って未来へワープする) うわ—————！

第 4 幕

気象予報士 こんにちは。気象予報士のギャルです。

ひき肉 アシスタントのひき肉です！

気象予報士 2050 年、10 月 21 日の気象情報です。

ひき肉 ようやく暑さがおさまってきましたね

気象予報士 今日の天気は東京 25 度、大阪 28 度、仙台 22 度となっています。

今年の夏は、東京は 40 度 8 分を記録しましたが、真夏日日数は連続で 50 日以上、
熱帯夜は連続 60 日以上となりました。

気象予報士 熱中症など暑さによって亡くなった方は 6500 人を超えて過去最悪となりました。

気象予報士 ここで京都から中継がつながっています。

京都アナ こちら京都は最高気温 25 度となりました。

この熱波の影響で、今年の京都の紅葉の見ごろは、クリスマス頃となりそうです。

気象予報士 沖縄とも中継がつながっています。

沖縄アナ こちら沖縄は 29 度です。夏の海水温の上昇によってサンゴの白化が深刻となっています。

そして今沖縄に、いまスーパー台風が接近しています。

気象予報士 スーパー台風に詳しい専門家の方に説明していただきましょう。

ひろゆき 今回の台風 20 号は、中心の気圧が 895 ヘクトパスカル、最大風速が 75 m と猛烈な台風です。

明後日には沖縄から本州に上陸する恐れがあります。

大雨、暴風雨に警戒してください。

停電や断水など甚大な被害が出る恐れがあります。

ペッパー 1 いまのニュースは、車の排気ガスなどによる二酸化炭素などの温室効果ガスを

今のまま出し続けた場合の、2050 年の様子を想定したものだよ。

ペッパー 2 温室効果ガスが原因で地球の気温はまいとしあがっているんだ。

ペッパー 1 それによって、強い台風、豪雨、干ばつ、山火事がおきるんだ

ペッパー 2 北極の氷がとけて海の水が増えて、沿岸の地域が浸水しているんだ。

モモ 2 このままだと室根でも自然災害が増えてしまうよ

ちょんまげ小僧 2 さっき会ったモザンビークの子たちが、僕たちより困りそう…

ろい 2 僕たちにできることはないかな…

みんな (音が鳴る) こ、これは！

ペッパー 2 SDGS 目標 13 気候変動に具体的な対策をだよ。

気候変動やそれによる影響を止めるための取り組みだよ！

エビローグ

かずと2 ちょっとまって、SDG s ってみんなつながっていない？

みんな どういうこと？

かずと2 だって災害が起きたら安全な水が手に入らないし、(SDGS の目標をもつ)

食べ物だって手に入らない (SDGS の目標をもつ)

教育を受けていないと、災害のとき避難の仕方也不知道だよ (SDGS の目標をもつ)

小学生たち たしかに！ そうだよね！ これも！ これも！ これも！ (がやがやする)

ろい2 全部の目標は

みんな つながっているんだ！

暗転 (音が鳴る)

神龍 わたしは SDG s をあつめて出てくる龍、神龍である。

よくぞ、SDG s のつながりに気付き、17 の目標をあつめたな。

さあ願いをいえ どんなねがいもひとつだけかなえてやろう

京都アナ このあとみんなはどんな願いをしたのでしょうか。

私は環境問題について学習して、世界には大変な人たちがいることが分かりました。

私たちができることをかんがえてみたいです。

神龍・みんな 「 室根でも SDG s に取り組もう！ 」

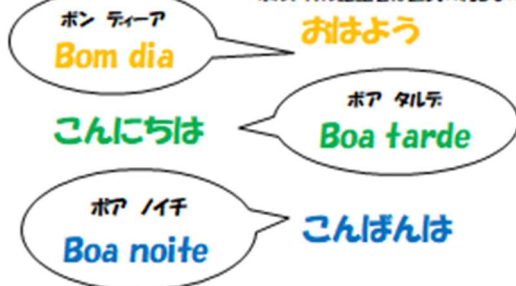
【資料5】



【資料6】

モザンビークの公用語はポルトガル語

ポルトガル語話者は国民の約50%



民族の言葉 シャンガナ語も言ってみよう

他にも 20 種類くらいの民族の言葉があるよ

